

コミュニティ中野小屋通信

第12号

発行所
コミュニティ中野小屋
発行責任者 真嶋民雄

『学校適正配置に関するアンケート調査の集計結果』

新年明けましておめでとうございます。地区の皆様にあかれましては佳き年をお迎えの事と思います。今年もコミュニティ協議会をよろしくお願い申し上げます。

昨年来、当地区の重要案件であります【学校適正配置】の件については多くの方々の意見を拝聴すべく、11月にアンケート調査を実施いたしました。各自治会長さんをはじめ御協力賜りました各位に対し厚くお礼申し上げます。今般アンケートの集計が終了しましたので報告いたします。

今回のアンケートでは、地区としての意見集約とか、方向性などを見出す事は出来なかったと言わざるを得ませんでした。この結果を踏まえ今後の方針として、より具体的に議論する場が必要と思われます。自治連、三校のPTA、後援会、同窓会、三園保護者会、民生児童委員、自薦他薦の参画者、コミ協役員等により『学校適正配置検討委員会(仮称)』を立上げて議論を尽くし、将来に悔いを残さないような対応をしていきたいと思っております。皆様方の御理解、御支援、御協力をお願い致します。

学校適正配置に関するアンケート調査の集計結果報告書

- 1 対象 中野小屋地区18自治会(945世帯) + 笠木小に通学している、仲才自治会(30世帯)
新田西自治会(31世帯)とし、1世帯につき1枚のアンケート用紙を各自治会長様を經由して
配布、及び回収をおこなった。
- 2 期間 平成23年11月13日(日)～11月30日(水)迄としたが、回収がふるわず、12月5日迄とした。

『集計結果』

- 質問 1 居住地の学校区は？ 学校区別回答状況

	回 答 数	回 答 率
小瀬校区(445世帯)	169	169/445 = 38.0%
笠木校区(320世帯)	218	218/320 = 68.1%
その他(199世帯)	178	178/199 = 89.4%
全体(1005世帯)	565	565/1005 = 56.2%
小瀬 笠木校区だけでは	387	387/765 = 50.6%

上表の様に50%をわずかに超えたもののこれは、仲才 30/30=100% 新田西 23/31=74.2%
の高回答率が数字を押し上げた。

中野小屋地区だけで見ると 334/745=44.8%にとどまった。

- 質問 2 学校適正配置問題について御存知でしたか？ 無記入回答21/565=3.7%あり

	知っていた	知らなかった
小瀬校区	113/169 = 67.3%	54/169 = 31.3%
笠木校区	124/218 = 56.8%	89/218 = 40.8%
その他	61/178 = 34.2%	103/178 = 54.6%
全体	298/565 = 52.7%	246/565 = 43.5%

- 質問 3 学校適正配置に関する説明会に参加したことはありますか？

	あ る	な い
小瀬校区	25/169 = 14.8%	144/169 = 85.2%
笠木校区	13/218 = 5.9%	203/218 = 93.1%
その他	3/178 = 1.6%	165/178 = 92.6%
全体	41/565 = 7.3%	512/565 = 90.6%

- 質問 4 学校適正配置問題に関心はありますか？ 無記入回答 9/565=1.6%あり

	あ る 少しあ る	な い 全くない
小瀬校区	157/169 = 92.9%	13/169 = 7.6%
笠木校区	188/218 = 86.2%	32/218 = 14.6%
その他	111/178 = 62.3%	53/178 = 29.7%
全体	456/565 = 80.7%	98/565 = 17.3%

- 質問 5 学校適正配置問題に関心のあるのはどうしてですか？ 無記入回答 6/565=1.1%あり

	母校だから	家族が通学中だから	学校は地区にとって大事
小瀬校区	48/169 = 28.4%	30/169 = 17.8%	80/169 = 47.3%
笠木校区	51/218 = 23.3%	26/218 = 11.9%	105/218 = 48.1%
その他	36/178 = 20.2%	0/178 = 0.0%	62/178 = 34.8%
全体	135/565 = 23.9%	56/565 = 9.9%	247/565 = 43.7%

* その他の理由として、14件寄せられた。

- 質問 6 関心のない理由は何故ですか？

	児童生徒がいない	社会の状況次第
小瀬校区	8/169 = 4.7%	2/169 = 1.2%
笠木校区	18/218 = 8.2%	11/218 = 5.0%
その他	41/178 = 23.0%	18/178 = 10.1%
全体	67/565 = 11.9%	31/565 = 5.5%

質問 7 少子化の進行について知っていましたか？ 無記入回答 20/565=3.5%あり

	知っていた	知らなかった
小瀬校区	144/169 = 85.2%	6/169 = 3.6%
笠木校区	204/218 = 93.6%	12/218 = 5.5%
その他	135/178 = 75.8%	25/178 = 14.0%
全体	483/565 = 85.5%	43/565 = 7.6%

質問 8 アンケート用紙に添付した、教育委員会からの平成24年～29年までの、小瀬小、笠木小中野小屋中の、学級数、児童 生徒数の予測表を見た感想は？ 無記入回答 37/565=6.5%あり

	こんなに少ないとは	ある程度予測していた
小瀬校区	18/169 = 10.7%	120/169 = 71.0%
笠木校区	39/218 = 17.8%	173/218 = 79.3%
その他	40/178 = 22.4%	119/178 = 66.8%
全体	97/565 = 17.2%	412/565 = 75.4%

質問 9 この様な状況下において、学校はどう配置すべきと考えますか？ 無記入回答37/565=6.5%あり

	今の学校は残すべき	統廃合して適性規模に	その他意見
小瀬校区	46/169 = 27.1%	97/169 = 57.4%	
笠木校区	53/218 = 24.3%	143/218 = 65.5%	
その他	20/178 = 11.2%	129/178 = 72.4%	
全体	113/565 = 20.0%	358/565 = 63.4%	41/565 = 7.3% 別紙

質問 10 質問9で、今の学校は残した場合、複式学級などになるがその対応はどうするか？

賛否さまざまな意見があり、質問9の その他意見とあわせて別紙に掲載。

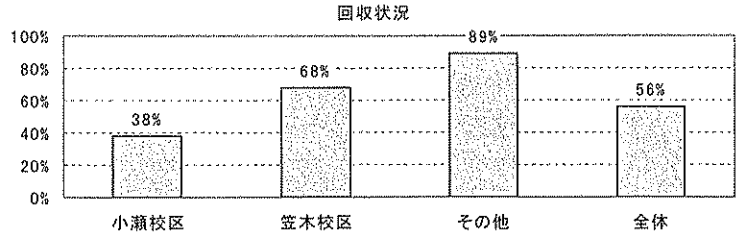
『アンケート結果に対するコミュニティ中野小屋の見解』

- 1 小瀬校区、笠木校区の回答率が、どうにか50%を超えたものの、新通地区の、仲才自治会、新田西自治会分の(53通/61世帯)を含めての数字であり、中野小屋地区だけの小瀬、笠木校区の回答率は、334通/745世帯=44.8%で半数にも達していない。
- 2 質問 2, 3, 4の回答から関心ありの回答は80%をこえたが、この問題を知っていたとの回答は約53%、過去3回実施された説明会へ参加したのは7.3%と非常に低くこの件について更なる説明会、検討会、意見交換会などが必要。
- 3 質問 5, 6に対しては、学校は地区にとって大事43.7%、母校である23.9%、家族が通学中9.9%で家族に児童、生徒がいなくても無関心ということではない。
- 4 質問 7, 8に対する回答からは、地区内の人々にとって少子化の進行は、様々な活動の中で認識されている。
- 5 質問 9, 10に対して今後の学校の配置については、今ある学校は残すべき20.0% 統廃合して適性規模に63.4%であるが、小瀬&笠木校区だけでは残すべき99/387=25.6% 統廃合して適性規模240/387=62.0%となる。
- 6 この問題の初の試みとしてアンケート調査の要望もあり実施したが、回答率が極端に低くまた、説明会への参加も少なく、中野小屋地区として一つの方向性を見出すような結果は得られなかったとおもわれる。但し笠木小においては新年度から複式学級がもう1クラス増えることもあり早急な対応が求められている事を認識しなければならない。

アンケートの集計結果(グラフ)

1. アンケート回収状況

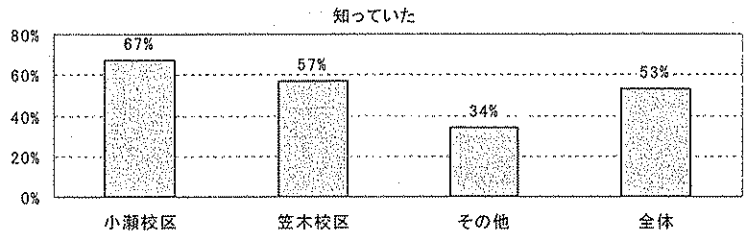
小瀬校区	38%
笠木校区	68%
その他	89%
全体	56%



2. 学校適正問題についてご存知でしたか？

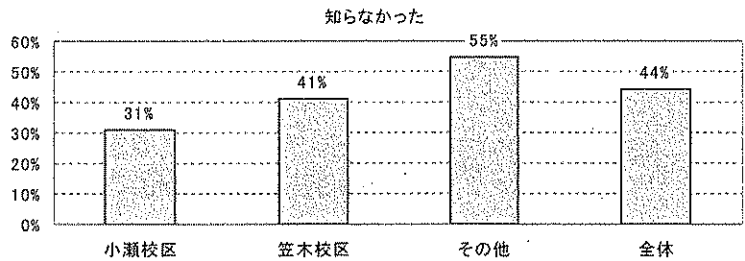
知っていた

小瀬校区	67%
笠木校区	57%
その他	34%
全体	53%



知らなかった

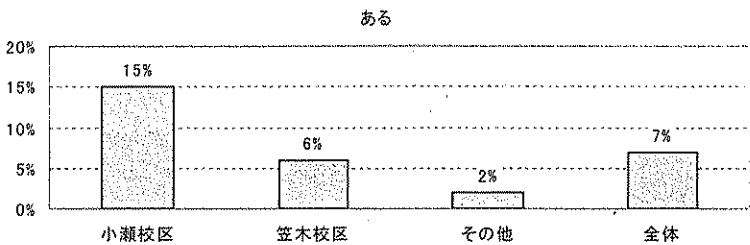
小瀬校区	31%
笠木校区	41%
その他	55%
全体	44%



3. 学校適正配置に関する説明会に、参加したことはありますか？

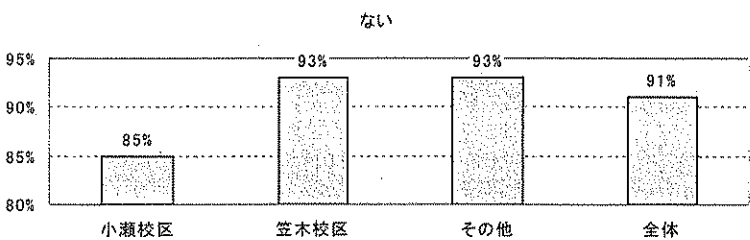
ある

小瀬校区	15%
笠木校区	6%
その他	2%
全体	7%



ない

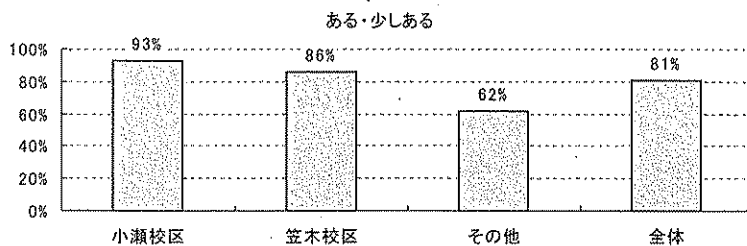
小瀬校区	85%
笠木校区	93%
その他	93%
全体	91%



4. 学校適正配置問題に関心はありますか？

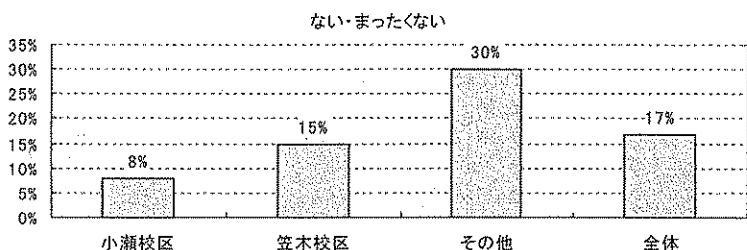
ある・少しある

小瀬校区	93%
笠木校区	86%
その他	62%
全体	81%



ない・まったくない

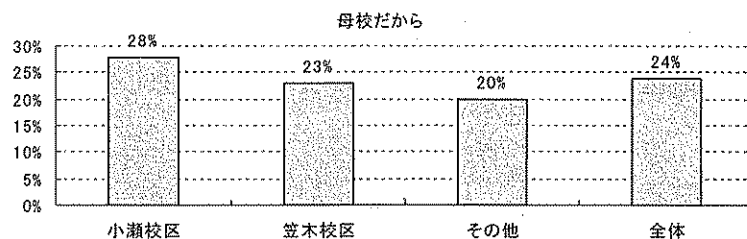
小瀬校区	8%
笠木校区	15%
その他	30%
全体	17%



5. 学校適正配置問題に関心のあるのはどうしてですか？

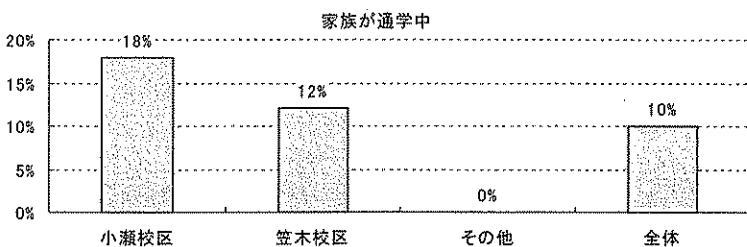
母校だから

小瀬校区	28%
笠木校区	23%
その他	20%
全体	24%



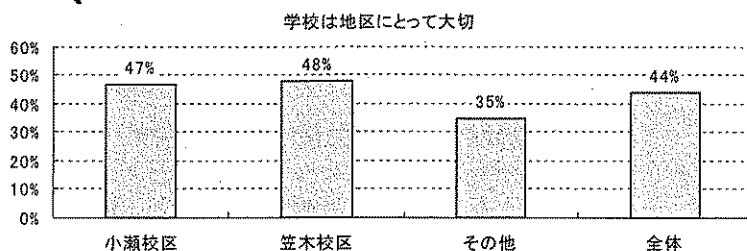
家族が通学中

小瀬校区	18%
笠木校区	12%
その他	0%
全体	10%



学校は地区にとって大切だから

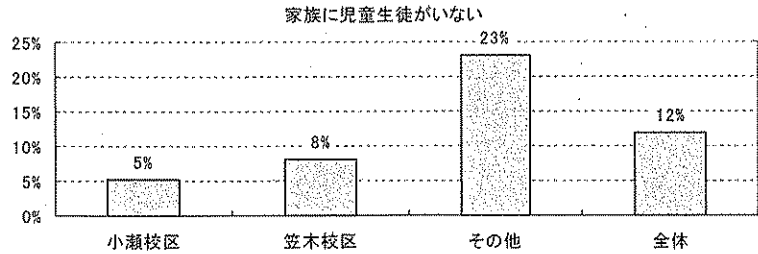
小瀬校区	47%
笠木校区	48%
その他	35%
全体	44%



6. 関心のない理由は何故ですか？

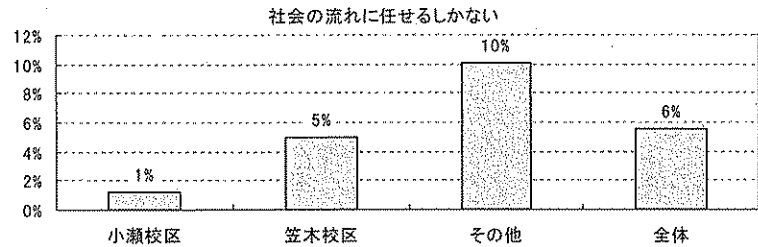
家族に児童生徒がいない

小瀬校区	5%
笠木校区	8%
その他	23%
全体	12%



社会の流れに任せるしかない

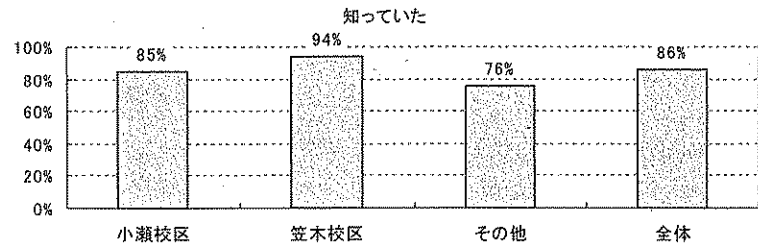
小瀬校区	1%
笠木校区	5%
その他	10%
全体	6%



7. 地区の少子化の進行について知っていましたか？

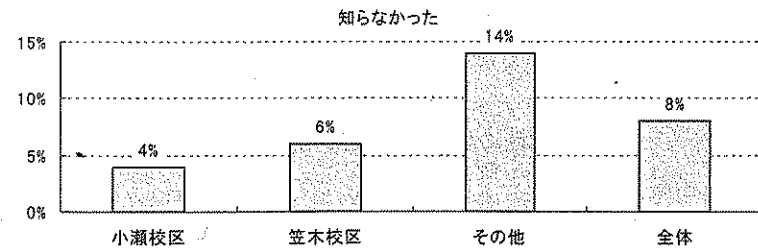
知っていた

小瀬校区	85%
笠木校区	94%
その他	76%
全体	86%



知らなかった

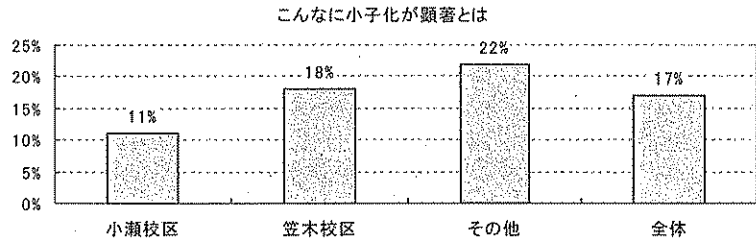
小瀬校区	4%
笠木校区	6%
その他	14%
全体	8%



8. アンケート用紙に添付した、教育委員会からの平成24年～29年までの、小瀬小、笠木小、中野小屋中の学級数、児童・生徒数の予測表を見た感じは？

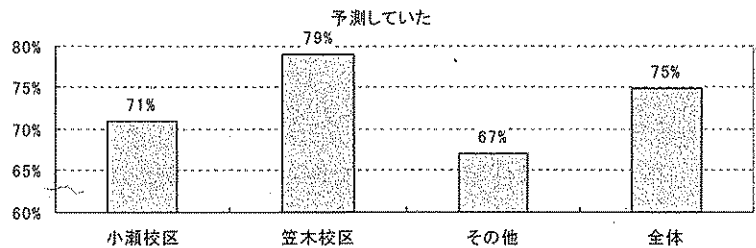
こんなに少子化が顕著とは

小瀬校区	11%
笠木校区	18%
その他	22%
全体	17%



予測していた

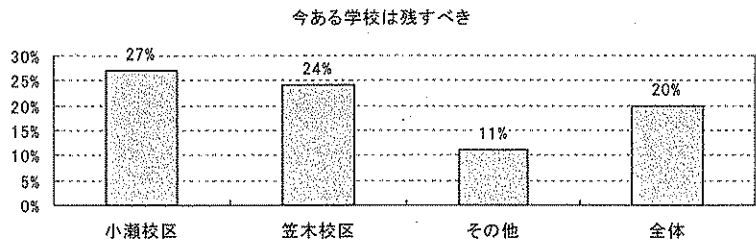
小瀬校区	71%
笠木校区	79%
その他	67%
全体	75%



9. このような状況下において、学校はどう配置すべきと考えますか？

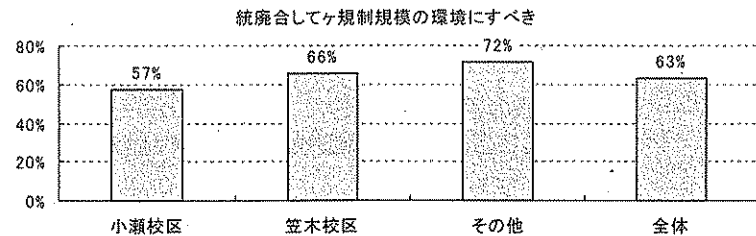
今ある学校は残すべき

小瀬校区	27%
笠木校区	24%
その他	11%
全体	20%



統合して適正規模の環境にすべき

小瀬校区	57%
笠木校区	66%
その他	72%
全体	63%



10. 質問9で、今の学校を残した場合、複式学級などになりますがその対応はどうされますか？

賛否さまざまな意見があり、質問9の その他意見と併せて別紙に掲載

その他の意見集計結果

★絶対に残す

- ・何年後に統合になることとは別に、今もう少し農村にのびのびした環境で勉強させてやりたい。
- ・学校がなくなると、地域のコミュニティが無くなるので残すべき。行政も支援が必要。
- ・子供を見守る地域の絆が強くなり、その線上に教育が有ると思う。
- ・地域、歴史とマッチした統廃が前提となるべき、大規模校への統合には反対です。学校の無い地域地区での生活も厳しいものとなると考えます。
- ・学校は地域と家庭と連携して様々な事業を行い、少人数だからマイナスとは思えない。
- ・学校が無くなれば過疎化が進むので地区の衰退につながる。
- ・子供が増えるようにする、広域開発などに努めるべき。
- ・近傍では住宅地が出来てきている。将来この地区もそのようなことも無いとは言えない。
- ・小学校は少人数の方が、全員に目が行き届いて良いと思うから残すべき。
- ・学級に見合った授業をしっかりと頂ければこのままで良い。自宅での学習をしっかりとさせていくことが重要。
- ・現在複式学級生。上の子、下の子の関わりが深く、子供達の成長が伺える。先生との関わりも良好で今のままでも良い。
- ・小さい学校の子が大きな学校に入る事になると、子供達が大変なので複式学級などでも残した方が良い。
- ・複式学級などの学校運営もやむを得ない。又このようになる原因として、学校区でありながら越境して他の小学校へ行っている事もあるかと思う。
- ・窮屈な学校運営の意味が良く解らないので、どのように対応して良いか解らない。複式学級ではだめなのか。
- ・窮屈には成らないと思う。
- ・複式学級の経験がないのに、こんな言い方もおかしいと思うが、最初から窮屈な……という言い方をすることに対して意義を唱える。この地域に学校を残す事ができるなら、前向きに考える。
- ・複式学級は承知しておりますが、それなりの適正な教育であって欲しい。
- ・複式学級でも残す。
- ・子供は地区の中で育てたい。
- ・複式学級の何が問題なのか？ 窮屈な運営の意味が解らない。
- ・少人数の方が一人一人に目が届くので残すべき。

- ・マンモス校が必ずしも適正教育とは思われない。
- ・適正規模(12~24クラス)の根拠が解らない。教師一人に対する児童数が多い方が問題。
- ・生徒が居る限り続けるべき。
- ・子供達が通学によいから。
- ・子供が遠い学校に通学することになる。
- ・私の母校ですので残して欲しい。
- ・何年か家族が通学予定。
- ・近くの学校なので。
- ・先生を増やして、教員の採用にも成る。
- ・質問9, 10. は統合に行くように感じる。

★複式は否定して残す

- ・少人数でも複式学級にしないよう、行政や教育委員会に働きかける。

★何らかの方法で残す

- ・行事等、人数が多く必要なときは合同で実施する。
- ・分校として残す。

★校区の形態

・本来形

- ・校区内の子供は校区外に行かないように。
- ・中野小屋地区の子供はすべて、中野小屋地区内の小・中学校に通学していた頃の形にして欲しい。
- ・校区と言うこと無く高山、槇尾は内野小へ行ってる人がほとんど、自由に出来るならば、少ない所が益々少なくなるように思う。
- ・自分の好きな中学校に行ける制度が良くない。校区制の厳格な運用。
- ・笠木校区の人は笠木校区に来ればよいと思います。
- ・笠木小に槇尾、高山、新通の生徒を通学の義務化。
- ・槇尾も笠木小に来て欲しい。
- ・校区外の越境入学を教育委員会が認めている。
- ・校区外の入学を禁止。
- ・徐々に共通学区を増やしていったら、最初から合併ありきな考えではないのか。

・見直形

- ・近隣のマンモス校からの移動・移転的な考え。
- ・内野や赤塚から中野小屋へ逆に通学出来るようなシステム作りをしてもらい(マイクロバスを出す)少しでも人数が増えるよう、アピール出来ないものか。
- ・出来るだけ地域特性を生かし、周りにも働きかけ生徒数を多くすることを考えるべき。
- ・生徒数の多い学校から入学してもらおう。
- ・人数の多い学校から笠木小に廻す。
- ・クラブだけを見ると大変だと思う(槇尾は除外になっている)学校が無くなることは寂しい校区を広く、通学しやすい環境はできないものか。
- ・市と協議を行い学校区域の見直しをはかり、子供達の増員を考え行政指導を行ってもらおう。
- ・学区制、学校配置を見直して適正化すべし。
- ・理想は学区の見直し、厳格化及びバランスの確保と思いますが、難しいことだと感じます。
- ・学区制を見直し近隣地区も含めて、生徒数のアンバランスを是正する。
- ・高山、槇尾に居所がある子供から笠木小に入学してもらいたい。また、新通、高山に居所がある子供から、中野小屋中学に入学してもらいたい。
- ・子供が小学生ですが、内野小へいっているのが校区が違う。

★統合容認

・中野小屋地域に残す。

- ・小瀬小と笠木小を統合し、地域に一校残してほしい。
(内野小との統合はやめてほしい。)
(みずき野団地の一部の児童を小瀬小学校にスクールバスで通学するようにする。)
- ・小瀬小と笠木小を統合し、小・中一貫校とし中野小屋地域に学校をのこす。
(小・中一貫校とし中野小屋中学校を利用する。)

・中野小屋地域外条件付きで賛成。

- ・適正児童数にすべき。
- ・スクールバスの運行。
- ・部活が出来なくなる。
- ・社会環境の変化に対応すべき。

・統合しても建物は活用する。

- ・災害時に避難場所となる。
- ・何かに利用する。

・わからない。

- ・わからない。
- ・もっと検討する。
- ・地元の学校は大事だと思うが子供達の為と思うと良くわかりません。
- ・多い意見に賛成します。

・やむをえない。

- ・やむをえない。
- ・現在の社会構造では仕方ない。
- ・小学校は統合されて一校でも。
- ・現在と同じきめ細かな教育が受けられ人間育成をしてもらえるならしかたないと思います。

★その他のその他

- ・先ず地域の発展をどうすべきかが問題。
- ・行政が考えるべし。
- ・他の小学校からスクールバスで連れてくる。
- ・クラスに女の子一人なのでお友達ができなくてかわいそう。
- ・児童・生徒数のデータを示すだけでなく人件費も含めた学校の運営経費も示してほしい。
- ・少子化は全国的に問題視されているもの、ここ農村部においても同様と思いますがただ代々住み世帯数に限りがある地域に対し、一口に少子化だと言われ「統合」しろでは教育委員会に問題あり、有識者会かなにか知らないがその声を反映させ統合するならば教育委員会の責任逃れ。
- ・どこと、どのように統合するかによる。
- ・もっと後になって統合。
- ・子供達は自分なりに又良い所を見つけ出すと思います。
- ・特色のある学校の構築。
- ・いっそ内野小へ統合する。

《無火災記録2000日達成》

2011年12月12日中野小屋地区は無火災記録2000日を達成しました。これは2006年6月からの記録です。防火連、消防団等関係機関の地道な啓蒙活動はもとより、住民各位の防火に対する強い意識の結果であるとおもいます。2000日は一通過点として、3000、4000日と伸ばしていきましょう。